

広報

No.179

くに
かみ

昭和63年 5月15日

発行・編集 国見町企画課

おもな内容

愛の献血に220人.....	2~3
にぎわう農業祭・あつかしの集い...	4
ふるさとの文化財.....	5
おしらせ.....	6~7
公民館だより.....	8~9
わだい.....	10



'88
5月

あつかしの集い

5月2日、大木戸小学校（星輝男校長）で全校児童が参加し「あつかしの集い」を実施しました。子どもたちは疲れたようすも見せず約1時間で頂上に到着。

当日は、藤田小学校（瀬戸清司校長）でも「あつかし登山」を行い、両校の児童が集まった頂上はととにぎやかでした。



▲子どもに人気の金魚すくい

好天に恵まれた五月五日、恒例の農業祭が観月台公園で開かれ、近隣の農家の人たちが、町内の子ども連れの人たちで終日にぎわいました。
公園の沼の周囲一面に張られた屋台の店には、色とりどりの草花から、苗木、かご、金魚屋などが並び、買い求める客が切れ目なく続いていました。

盛況だった
農業祭



▲どのかごにしようかな？



▲草花も人気のコーナー



▲大勢の人でにぎわう農業祭

あつかしの集い

大木戸小学校

五月二日、大木戸小学校（星輝男校長）では、あつかし山のこみ拾いをかねてハイキングを実施しました。

当日は朝のうち雨が降りましたが、学校を出発する頃にはすっかり晴れあがり汗ばむほどになりました。通学班ごとに並んだ児童たちは、新緑のきれいな景色や草花に足をとめながら、約一時間で全員頂上に着きました。お弁当を食べ、山をくだりながら道ばたに捨てられた空き缶や紙くずを、持参したナイロン袋にひろいながら帰りました。



▲おいしいー



▲もうすぐ頂上 教頭先生はちょっと疲れたかな？



▲あつっこにもごみ

ふるさとの文化財

50

厚樫山故戦将士ノ碑

菊池利雄



▲厚樫山故戦将士ノ碑

大木戸小学校の西、国道四号
脇の高台(大木戸字)に、厚樫山故

戦将士ノ碑がある。碑は台石
(幅二メートル、高さ〇・八
メートル、厚さ〇・六メートル)
の上に置かれ、

テ七百年ヲ垂ル、……とある
が、国見駅は「吾妻鏡」の記述
からみて、藤田宿の別称と考え
るべきで、貝田駅としたのは問
題があろう。

この碑は、文治五年(一一八
九)八月この地で戦われた阿津
賀志山合戦の七百年(天保四年
一八三三)を記念し顕彰すること
とし、戦没した鎌倉・奥州両軍將
士への鎮魂の証として、時の信
夫部長(柴山景綱)は、信夫郡書記
徳江末晴、藤田村外拾老ヶ村戸
長役場成沢英和、大木戸村の豪
農(通称宮原と呼ばれた)半沢
与一郎等と相はかり、明治十八
年(一八八五)六月、厚樫山麓
の合戦の地に建碑をみたもの
である。しかし、実際に落成し
たのは、戸長役場が徳江村に建
碑に要する運送人夫の、出役を
依頼した文書などから、年の瀬
もおし迫つた十二月のことであ
つた。(国見町史)

碑文は柴山景綱の撰、書なら
びに篆額は逐堂高橋周による。
「吾妻鏡」によつた阿津賀志山
合戦の経緯と、陣没者への慰霊
追悼をその内容としたものであ
るが、冒頭に「岩代伊達郡貝田
駅八国見駅ト称ス、駅ノ西ニ厚
樫山有リ、林樹鬱葱ス、事遙キ

「建築進む 宮館住宅団地」



鈴木 清二さん



吉田 勝由さん

町外の方：19世帯65人
町内の方：24世帯78人
建築入居世帯：14世帯57人
建築中の世帯：3世帯6人

◆購入された方の内訳(43区画)
町外の方：19世帯65人
町内の方：24世帯78人
建築入居世帯：14世帯57人
建築中の世帯：3世帯6人

固定資産評価審査委員に
吉田さん・鈴木さん再任
このたび、任期満了による固
定資産評価審査委員に、次の二
人が再任されました。
審査委員は、固定資産の評価
など、固定資産税の運営のより
一層の適正公平を期する趣旨か
ら設けられています。
◇吉田勝由さん(76歳) 大字
藤田字北二十六番地
任期は昭和六十六年三月三十
一日までです。
◇鈴木清二さん(56歳) 大字
西大枝字築館二十七番地
任期は、昭和六十六年四月二
十四日までです。

「人口定住化と住み良い町づ
くり事業」の一環として、町が
福島地方土地開発公社に事業を
委託し、昨年春より分譲を開始
しております宮館住宅団地は、
本年四月をもって予定四十三区
画の契約を済ませました。
団地には、現在建築中も含め
て十七戸が建ち、一日と住宅
団地としての姿を整えておりま
す。
町では、購入されたみなさん
に対し、新しい居住環境での生
活設計を歓迎いたしますととも
に、国見町住民として住み良い
町づくりに一層のご協力をお願
いたします。



▲建築進む宮館団地



作品募集 写真コンクール ふくしま緑の

県民一人ひとりに緑の大切さ、貴重さ、有難さ」を再認識してもらうため、県民が選んだ「緑の百景」を中心に、第三回「ふくしま緑の写真コンクール」を実施しています。あなたの身近にある「鎮守の森」や「公園」など、豊かな緑を題材とした作品を多数応募してください。

▼応募要領

- ①応募資格 県内の居住者とし、作品は自作に限ります。(職業写真家は除きます)
- ②作品 カラープリント四ツ切サイズの一枚写真、スライドや組み写真は除きます。ただし、応募点数に制限はありません。
- ③方法 所定の応募用紙に住居、氏名、年齢、職業、郵便番号、電話番号、緑の写真撮影地名を記入、作品の裏に添付し、福島市中町

五十八(県林業会館内)

県緑化推進委員会。または、

福島県市太田町十三一十七

福島民報社企画事業局宛に

郵送、または直接持参して

ください。

④締め切り 昭和63年10月31日(必着)

▼表彰

特選：1点 賞状、賞金5万円

金賞：5点 賞状、賞金3万円

銀賞：6点 賞状、賞金2万円

銅賞：6点 賞状、賞金1万円

入選：30点 賞状、記念品

佳作：数点 賞状、記念品

※入賞作品は県内6地区を考慮して審査します。

なお、詳しくは福島県緑化推進委員会(☎〇二四五—二四一—四八〇)、または福島民報社企画事業局(☎〇二四五—三一—四一七)へお問い合わせください。

○県内に住、在学者または県内出身者

○七月下旬から八月下旬までの間継続し、その後随時く

だものPR事業に従事できる人

○福島市内に通勤可能な人

募集人員 十名

三選考期日 七月三日(日)

午後一時

四選考会場 福島市市民会館(霞町)

五募集締切 六月二十五日(土)

六応募・問い合わせ先 福島市役所内「ミスビーチ係」☎三五—一一—内線三六〇

※応募方法「官製ハガキでお申し込みください。」

(おもち)

(うら)

「ルールを守って 楽しい通信」

「電波法違反防止切聞」

六月一日から十日まで不法無線局による電波妨害の根絶を図るため「電波法違反切聞」が実施されます。電波利用の普及と高度化が進

む中でハイパワー市民ラジオや不法アマチュア局のほか、最近では不法コードレス電話(不法自動車無線)や不法パソコン(無線車、新たな形態のものが多い)など、これらの不法無線局による無線通信への混乱妨害等が多発しています。電波による障害等でお悩みの場合は、東北電気通信監理局電気通信部調査課(千鶴仙台市本町三—二五☎〇二—二二—一〇六四二)へご連絡ください。

「世帯更生資金 貸付制度」のお知らせ

低所得世帯や身体障害者世帯に対し、低利で長期に貸付ける「世帯更生資金」の貸付制度があります。自立更生をはかるうえで資金が必要な場合(他から融資のみがない方)は、地域の民生委員が町社会福祉協議会にご相談してください。なお、貸付対象者及び条件は概ね次のとおりです。一、貸付対象者「低所得世帯・身体障害者世帯 二、貸付の条件(主なもの) (昭和63年4月1日現在)

資金の種類	貸付限度額	償還期限	資金の用途
生業費	180万円	7年以内	生業を営むのに必要な経費
身体障害者生業費	320万円	9年以内	身体障害者が生業を営むのに必要な経費
住宅資金	150万円	6年以内	住宅を増・改善・拡張・保全するのに必要な経費
療養資金	36万円	5年以内	負傷又は疾病の療養に必要な治療費
災害援護金	100万円	7年以内	災害を受けたことにより困難からの自立更生に必要な経費
修学資金	月9千円—3万5千円	10年以内	高等学校以上に就学するに必要な経費

※なお、詳しいことは役場住民課福祉係(☎八五—二二—)内線(一三四)へお問い合わせください。

今月の納税

今月は、固定資産税(第一期)・軽自動車税の納税の月です。納期内(五月末日まで)納入しましょう。





国見町公民館
☎85-2676
(有)4156

阿津賀志学級開講

阿津賀志学級開講式が、四月二十五日、百四十二名が出席して公民館講堂で行われました。新しく学級生になった三十八名には、交通安全大学生生証が交付されました。

開講式後、第一回の学習として、藤田小学校の瀬戸清司校長先生から「孫の心を育てるために」というテーマで大変有意義なお話しを聞きました。今年度の学級生は二百九十六名です。なお、年間学習計画のほ



▲阿津賀志学級開講

かに、趣味のグループ学習(ゲートボール、園芸、手芸、書道、社交ダンス)が数多く予定されています。

昭和六十三年度の学習運営委員会役員は、任期が二年間です。で前年度の役員が引き続きその任にあたりました。

- 委員長 藤田勝衛
- 副委員長 吉田嘉蔵
- 会 計 佐久間いち
- 庶 務 遠藤源五郎

ギネスに挑戦 連タコ大空に舞う

サークルばけっと(代表 石川博利)では、去る四月十七日(日)午後、阿武隈川堤防で連タコをあげました。

ひとつのタコでさえ思うようにいかないなか、「ギネスに挑戦」と、昨年十月頃から作りはじめ二〇〇枚ほど完成したの連タコあげを実施しました。このうち七〇〇枚の連タコが、澄みきった大空を泳ぎ空高く舞



▲大空に舞いあがる連タコ

いあがり、会員一同、雄大なこの一瞬に感激しました。「今後何事にも挑戦」と、若き心を燃やして活動しようとはりきっています。サークルばけっとでは、会員を募集しております。

活動日 毎週火曜日
午後七時三十分から
活動場所 国見町公民館

母と子の 公民館活動が開始

子供の情操をより豊かにし、明るく健やかに成長するよう、母と子がいっしょに読書と創作活動を行うことを目的とした「母と子の公民館活動」が大枝地区を皮切りにスタートしました。この事業は、毎月一回、公民

館の移動文庫が町内五地区を巡回し、児童図書貸し出しを主に、折り紙、染め紙などの創作活動や紙芝居、人形劇などを行うものです。対象は、一年生から三年生までの児童とその母親です。一人でも多くの子供が本に親しめるようにし、あわせて今年「どぶ」をテーマに創作活動を進めています。

新体育指導委員 が決まる

町教育委員会では、昭和六十二年で任期満了となった体育指導委員について、各地区のスポーツ振興会から推せんを受け、二十五名を新体育指導委員として選出しました。

五月二日午後六時から公民館で、委嘱状の交付が行われ、新体育指導委員のみならず、新体育指導委員のみなさんに、委嘱状が交付されました。

また席上、三十有余年体育指導委員として、また会長として町体育振興の普及発展に貢献された佐藤元一さんはじめ、退任された方々に記念品が贈呈されました。

退任されました六名の方々の活躍に感謝の意を表します。新体育指導委員は次の通りです。よろしくお願いします。



▲本の貸出しに集まった子どもたち

- | | | |
|--------|----|--------------|
| 赤坂 正弘 | 現 | 内容 |
| 浅野 靖 | 〃 | 泉田 |
| 山田 勲 | 〃 | 新小坂 |
| 羽根 俊一 | 現 | 藤田 |
| 古内 清行 | 〃 | 藤田 |
| 斎藤 洋二 | 〃 | 藤田 |
| 佐藤 三三夫 | 〃 | 藤田 |
| 佐藤 清一 | 〃 | 塚野目 |
| 吉田 義勝 | 〃 | 新森山 |
| 佐藤 克成 | 〃 | 徳江 |
| 村上 信次 | 〃 | 大木戸 |
| 阿部 松夫 | 現 | 貝田 |
| 朽木 文雄 | 〃 | 新大木戸 |
| 鈴木 一男 | 〃 | 現川内 |
| 瀬戸 邦光 | 〃 | 新西大枝 |
| 佐藤 元一 | 退任 | された方は次の通りです。 |
| 佐藤 元一 | 〃 | 小坂 |
| 佐藤 勝雄 | 〃 | 石母田 |
| 斎藤 規雄 | 〃 | 徳江 |
| 佐久間健一 | 〃 | 森山 |
| 渋谷 薫 | 〃 | 光明寺 |
| 松浦 幹男 | 〃 | 西大枝 |



スポーツに親しみ 楽しい生活!!



昭和63年度 事業計画 (スポーツ大会等)

月	日	大会名	内容	対象者	会場
5	29	県民スポーツ大会町予選会 (壮年ソフト)	トーナメント戦	40歳以上男子	運動場
6	7	県民スポーツ大会町予選会	ブロックリーグ戦	30歳以上女子	体育センター
6	9	(家庭バレーボール)	決勝トーナメント戦		体育館
6	毎週	バウンドテニス教室	4回教室を行う (水曜日)	婦人	体育館
6	19	県民スポーツ大会町予選会 (バドミントン)	団体・トーナメント戦	一般男女	体育館
6	19	県民スポーツ大会町予選会 (卓球)	団体・トーナメント戦	一般男女	体育館
6	26	県民スポーツ大会町予選会 (軟式庭球)	団体・トーナメント戦	一般男女	テニスコート
7	10	伊達スポーツ大会町予選会 (ソフト)	トーナメント戦	一般男子	運動場
7	17	県民スポーツ大会 (県北大会)	トーナメント戦	各町代表チーム	伊達管内
7	31	第9回少年ソフトボール大会	トーナメント戦	各小学校高学年	運動場
8	7	伊達スポーツ大会町予選会 (軟式庭球)	団体・トーナメント戦	一般男女	テニスコート
8	7	伊達スポーツ大会町予選会 (テニス)	団体・トーナメント戦	一般男女	テニスコート
8	14	伊達スポーツ大会町予選会 (バドミントン)	団体・トーナメント戦	一般男女	体育館
8	14	伊達スポーツ大会町予選会 (卓球)	団体・トーナメント戦	一般男女	体育館
8	21	伊達スポーツ大会町予選会 (剣道) (柔道)	団体・トーナメント戦	一般男子	体育館
8	21	伊達スポーツ大会町予選会 (バレーボール)	トーナメント戦	一般男女	体育センター
8	28	第5回スポ少ソフトボール大会	トーナメント戦	小学生	運動場
9	4	第7回伊達スポーツ大会 (未定)	トーナメント戦	各町代表チーム	テニスコート
9	12	第7回町長杯争奪ソフトボール大会	トーナメント戦 (ナイター)	一般男女	県北中グラウンド
9	29	第6回町長杯争奪ゲートボール大会	予選リーグ戦	愛好者	福祉センター前広場
9	30		決勝トーナメント戦		
10	8	高齢者・婦人運動会	10種目程度	高齢者・婦人	福祉センター前広場
10	10	ジョギング教室	ジョギング	一般町民	ジョギングコース
10	23	第23回桑折町・国見町少年剣道大会	団体・個人戦のトーナメント	両町小中学生	体育館
10	30	第4回国見町綱引競技大会	予選リーグ戦	一般男女	体育館
11	13	第12回町内一周駅伝競走大会	10区間リレー	一般男女	町内
11	20	第4回郡綱引大会 引き大会	トーナメント戦	各町代表チーム	体育館
11	27	なわとび教室	長短なわとび	一般男女	体育館
12	4	第7回伊達郡内一周駅伝競走大会	12区間リレー	各町代表チーム	伊達管内
12	11	第6回町長杯争奪家庭バレーボール大会	トーナメント戦	婦人	体育館
1	22	親子スキー教室	スキー教室	親子	塩沢スキー場
2	12	町民卓球大会	トーナメント戦	一般男女	体育館
2	26	町民スキー教室	スキー教室	一般男女	天元台スキー場

昭和63年度 事業計画 (スポーツ教室・講習会)

月	事業名	内容	対象者	会場
5	ゲートボール講習会	基本から応用	愛好者	福祉センター前広場
6	硬式テニス教室	基本から応用	愛好者	テニスコート
6	バウンドテニス教室	基本から応用	婦人	体育館
10	ジョギング教室	ジョギング	一般男女	ジョギングコース
1	親子スキー教室	基本から応用	小4年以上	塩沢スキー場
2	町民スキー教室	基本から応用	一般男女	天元台スキー場
2	町民卓球教室	基本から応用	一般男女	体育館

わ
だ
い



県北消防操法競技

大会開催される

昭和六十三年度福島県消防操法競技県北地方大会が、四月二十二日、福島市の福島競馬場会場に繰り広げられました。

この競技大会は、隔年ごとに開かれる大会で、国見町からは第四分団（大枝地区）が小型ポンプの部に出場しました。指揮者の佐藤洋一さんをはじめ



▲いよいよ競技開始

め、一番員の鈴木富男さん、二番員の瀬戸邦光さん、三番員の小林憲一さん、補充員の瀬戸正明さんの各選手は、大勢の観客の見守る中、真剣に競技を行いました。

団長以下幹部団員、それに防火クラブの人たちの応援を受け、日ごろの練習の成果を十分発揮しました。惜しくも入賞はできませんでしたが。

入賞こそ逃しましたが、選手皆さんの表情は充実感に満ちあふれていました。

春日神社で例大祭

（内容太々神楽奉納）

快晴に恵まれた四月十七日、町無形民俗文化財指定の「春日神社の太々神楽」が、神楽殿で



▲内容太々神楽

奉納されました。

当日は午後二時から全二十八座のうち十一座が奉納され、境内に集まった地元の人たちは熱心に見入っていました。

古溝真奈美さんら

三人が見事ノ特選

（全日本こども美術展）

第十二回全日本こども美術展が、四月十二日から十七日まで大阪市立美術館阿倍野展覧会場で開催されました。

この美術展に出品した古溝真奈美さん（県北中一年）、古小高晋二君（県北中二年）、蓬田知展君（福高一年）の三人が、見事特選に輝きました。

この美術展には、全国から約六千五百点の応募があり、その



▲古小高君の「絵を描く友」

内約二千点が入選しました。

また、佳作に古溝拓君（小坂小一年）、古溝孝君（小坂小四年）、遠藤崇君（県北中一年）の三人が選ばれました。

さらに、八島貴端君（藤田小一年）、佐藤光克君（森江野小二年）、遠藤恵子さん（藤田小二年）、鈴木真佑子さん（大枝小三年）、八島隆記君（藤田小四年）、吉田久俊君（森江野小五年）、佐藤稚子さん（藤田小五年）、遠藤祥史君（藤田小五年）、山崎敦君（県北中三年）がそれぞれ努力賞に選ばれました。

「小さな画家の家」には、「奨励賞」が贈られました。

力作ぞろいの「趣味の合同習作展」

今年で第十二回目を迎えた「趣味の合同習作展」が五月四、五日の両日町民体育館で開催されました。

主催の合同習作展実行委員会の主催、町文化団体連絡協議会、町教委の後援で、町内の各文芸愛好サークルが短歌や俳句をはじめ習字や日本画、和紙人形の秀作を多数出品しており、農産物の買物帰りの人たちも訪れ、すばらしい作品に熱心に見入っていました。



▲力作が並んだ合同習作展

今年で第十二回目を迎えた「趣味の合同習作展」が五月四、五日の両日町民体育館で開催されました。

編集日記

○ゴドルデンウィークを利用したまの家族サービスと思い近くの温泉に出かけました。昨年まではせっかくなの連休ということ、遠出をしていましたが、毎年、車の渋滞や人の多さに疲ればかりが残る、家に帰ってきても二、三日は身体がだるく大変なので、今年は遠出は避け近くの温泉に。新緑の美しさを蔵王の残雪に目を休め、のんびりと休養してきました。

○先日、七ヶ宿の水芭蕉群生地に行ってきました。尾瀬のスケールには及びませんが、国道のすぐ脇で、木道の両側に可憐に咲いているその美しさに思わず立ち止まり、時間のたつのも忘れ入っていました。（K）